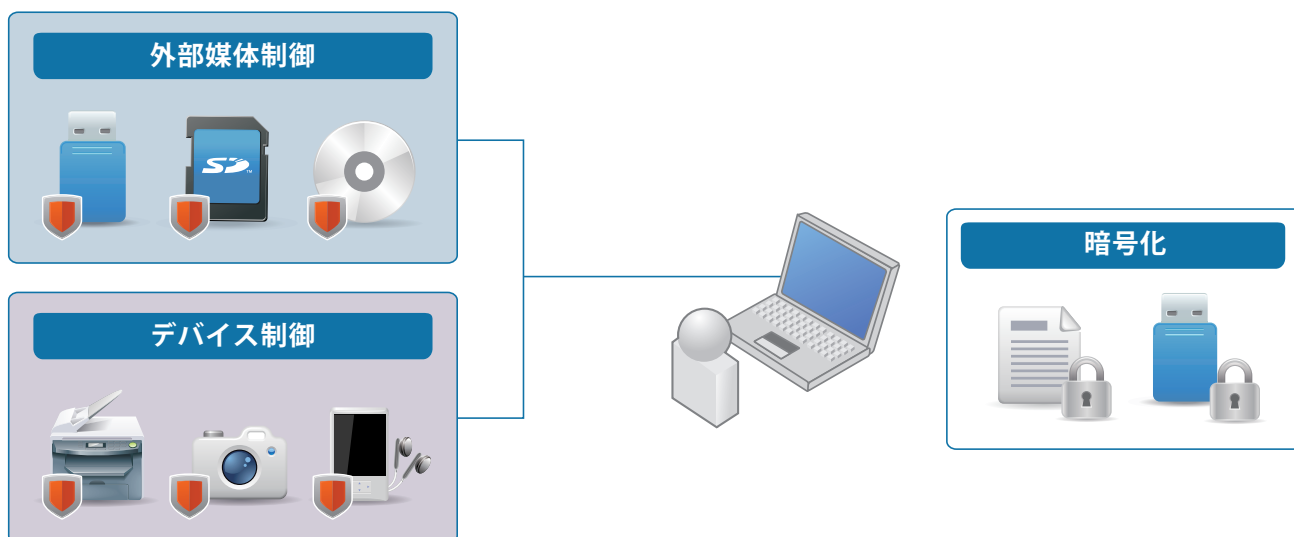


# SecureCore RSS

## 外部記録媒体の利用を制限する、情報漏洩対策ソリューション

- USBメモリなど外部記録媒体の利用制御
- ハードウェアやポートの制御
- 外部記録媒体の暗号化
- ファイル単位での暗号化
- 官公庁への納入実績多数有り
- スタンドアロン版利用可能
- 必要最低限の運用で安価に導入
- SecureCore Standardと共存可能



### 情報漏洩のリスク

個人情報や企業の知的情報が流出する事件・事故が多く報告されています。情報システムの大容量化に伴い、事故一件あたりの被害は飛躍的に増大しております。また、自社内で全ての業務を完結する事は困難な時代であり、派遣先、委託先や請負先など、社外のルートから情報が流出するリスクも高まっております。

### SecureCore RSSによる対策

- ・協力会社や取引先との安全なデータ受け渡し
- ・データ暗号化による個人情報や営業情報の漏洩対策
- ・私物 USB メモリ、オーディオプレーヤーやスマートフォンの接続禁止
- ・デバイス利用申請から承認のルールによる、社員のセキュリティ意識の向上
- ・盗難や紛失時の二次被害防止

### イージーモードによるシンプルな管理機能と簡単な操作性

管理画面はイージーモードとプロフェッショナルモードから選択できます。

メディアの【登録】→【配布】や、ユーザーからの【申請】→【承認】の操作をウィザード形式でシンプルに行えます。

SecureCore RSSでは、業務の生産性を妨げず、シンプルで柔軟な管理と、簡単な操作性を実現しています。

## SecureCore RSSの機能

### メディア本体の暗号化フォーマット



暗号化されたメディアは組織外で利用不可能

### コンピュータ別による管理



コンピュータ単位でのポリシー配布による利用制限が可能

### ファイルの暗号化や自己復号暗号



パスワードを掛けることでファイル単位での暗号化が可能

### ユーザーや組織別による管理



ユーザーや組織単位でのポリシー配布による利用制限が可能

### メディアの利用期間制限



利用期限が過ぎたメディアは利用不可能

### ウィザード形式による承認処理



時間と手間をかけない簡単な承認処理

### 組織に合わせた管理権限の委任



部や課などの組織に合わせた管理者の権限委任が可能

### 社外オフライン PC の利用も可能



出張時など、社外にPCを持ち出した時でも安全に利用可能

### ポリシー変更も即座に反映



ユーザーがメディアを挿入した瞬間にポリシー反映

### メディアの個体管理による履歴追跡

ID:ABCDEFGHIJK



メディア固有のID情報を管理し利用履歴を全て記録

### オプション 内蔵HDDのアクセス証跡を記録



内蔵HDDの読み/書き/ファイル名変更などの操作を全て記録

## 製品仕様

サーバー動作環境	
サポートOS (※1)	Windows XP, Vista, 7, 8/8.1, 10 (32/64bit) Windows Server2003/R2, 2008/R2, 2012/R2 (32/64bit)
CPU	Pentium 500MHz以上
メモリ	64MB以上
ハードディスク	1GB以上 (標準インストールの場合)
DB	Microsoft SQL Server 2005以上 (Express Edition でも可)
クライアントおよびコンソール動作環境	
サポートOS (※1)	Windows XP, Vista, 7, 8/8.1, 10 (32/64bit) Windows Server2003/R2, 2008/R2 (32/64bit)
CPU	Pentium 500MHz以上
メモリ	64MB以上
ハードディスク	32MB以上

(※1) 対応OSのバージョンについては、お問い合わせ下さい。